



在京古高同窓会会報
第58号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局

☎・FAX (042) 494-1598
URL: http://在京古高同窓会.jp
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株)ケーヨー

良い年で

ありますように

会長 鹿野 軍勝



新年あけましておめでとうござい
ます。皆様、如何お過ごしでしょ
うか。何か今年は世の中が大きく
変わるような気がしてなりません。
「よい年でありますように」と念じ
たくなります。来る1月28日(土)
の新年会では、多くの皆様のお元
気なお顔を拜見できますよう、今
から楽しみにしております。

さて、月日の経つのは早いもの
ですが、リオのオリンピックを楽
しまれたでしょうか。私はスポー
ツが好きなのですから、多くの
日本の選手の活躍を見ながら楽し
い時間を過ごせました。
8月には小池都知事が誕生しま
した。2020年のオリンピック
についての課題も浮上しています
が、何とか上手く運んでくれるも
のと楽観しております。

9月から10月にかけて、台風の
襲来が多く熊本地震などもあり、
心配事が続いたような気がします。
10月には大隅良典さんがノーベル

生理学・医学賞を受賞するとい
う嬉しいニュースに接することがで
きました。

目を海外に転じますと、世の中
が大きく動いているような感じが
します。6月には、EU残留の可
否を問う国民投票で、離脱が残留
を上回るといふ予想外の結果が出
ました。失業による生活苦・移民
の流入・格差地域差の拡大等々
な分析が行われていますが、今ま
での政治・経済・社会の在り方に
大きな疑問を投げかけているよう
に思われます。

また、10月には南米コロンビア
で52年にわたる内戦に終止符を打
つと期待された和平合意について
の国民投票で反対が賛成を上回る
という予想外の結果が出ました。
これには私も驚いたのですが、少
し救われるのは、反対派と賛成派
との間で修正点を求めて話し合い
に入ることとなったことと、和平
への後押しも含めてサントス大統
領にノーベル平和賞が贈られたこ
とです。

激震は11月に訪れました。トラ
ンプ氏が次期米大統領に選出さ
れたことです。あらゆる常識やタ
ブに挑戦するかのような言動で
支持を集めて当選したのですから、
驚きを越えています。何かが大き
く変わったのでしょうか。今年は大
事が大きく変わる年になるのだ
でしょうか。
それでは、新年会でお目に掛か
ります。

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月-翌3月、
年会費は2,000円です。
振り込み用紙が同封
された方は会費納入を
お願いします。
- ・会の健全運営のため、
賛助金のご協力をお
願いします。
- ・次回会報第59号は
2017年6月1日発行
予定、原稿は常時受付。

新年のご挨拶

古川高等学校長 浅野 悟



在京古高同窓会の皆様、新年明
けましておめでとうございませ
す。

旧年中も、本校の教育活動に様々
なご支援やご助言をいただき感謝
いたしております。また9月の「ふ
るさと探訪ツアー」では、夜の部
のみ参加させていただきましたが、
楽しいひとときを過ごさせていた
だきました。ツアー初日は、宮城
県を南北に縦断する盛りだくさん
な旅でしたが、皆さんとてもお元
気で、鳴子の宿泊先では夜遅くま
で話に花が咲き、そのパワーに圧
倒されました。またツアーの出発
前には本校にもお立ち寄りいただ
きありがとうございました。

さて本年は、本校創立120年
を迎える節目の年となります。そ
れにふさわしい記念行事を一昨年
から計画しておりました。創立
120周年記念事業実行委員会は
正式には設立されていませんが、
その設立準備会を数回開催し、行
事の内容等を検討しております。
最大の行事となります記念式典は

11月上旬開催の予定です。また創
立100周年の時に発行して以来
となりません記念誌(仮題「100
周年からの歩み」)も作成する方向
で調整しております。予算や近年
の情報化の状況から、電子デー
タをHPに掲載し、世界中から閲覧
及びダウンロードできるように計
画しています。ご期待下さい。ご承
知の通り、100周年からのこの
20年間は、本校にとりまして大き
な出来事が続いた歳月でした。中
でも男女共学化はその中心となる
ものです。また凌雲文化センター
や新体育館、新校舎(南校舎)の
落成もありました。そして東日本
大震災も経験しました。資料やデ
ータばかりでなく、その時々を生徒
や関係者の声も掲載することも考
えているようです。

100周年の時、男子高時代は
1学年8クラスでしたが、少子化
の影響で中学卒業生が急減し、現
在は1学年6クラス編成です。こ
の状況もいつまで維持できるか不
安です。現在宮城県公立高校は、
定員の3割程度を前期選抜、残り
7割程度を後期選抜と2回の入学
試験で選考していますが、中学3
年生を対象に受験希望調査を宮城
県が実施しましたところ、本校は
前期選抜で3倍を超え、全県で第
4位、普通科では第3位の高倍率
でした。この時期の調査ですから、
中学生の人気調査の色合いが強い
のですが、地域の中学生には憧れの
高校です。これも楽しく元気に学
校生活を送っている在校生や各界
で活躍している同窓生の姿に、地
域の中学生や保護者が好感を持っ
ている結果だと思っております。

120周年のお知らせばかりで
申し訳ありませんが、1月末の在
京四校新年の集い、卒業生への賞

雪賞授与式など、今後も在京同窓
会の皆様にはお力添えをいただく
ことが続きますが、よろしくお願
いします。結びに、在京古高同窓
会のみならずのご発展と会員の皆
様のご健康を祈念申し上げます。
のご挨拶といたします。

お知らせ

第24回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日時】平成29年1月28日(土)
11:00~総会
11:45~スプリング・コンサート
12:45~懇親会

【会場】上野精養軒
電話 (3821-2181)

【会費】8,000円

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分



【コンサート出演者】

- 倉沢大樹: 宇都宮市出身。ピアノ・エレクトーン奏者の他アレンジャーとしても活躍。
- 島田絵里: 栃木県小山市出身。フルート奏者として、ジャンルを問わない音楽を表現して自らの世界を表現している。
- 岡田征枝: シンガー。古川学園高校同窓会関東支部常任幹事(S40年卒)。
- 工藤春彦: 中新田出身。古高(S47年卒)を経て国立音大ヴァイオリン専攻卒。東京放送管弦楽団コンサート・マスターとして、NHKの主要音楽番組に出演、日本の芸能歌謡界の一角を支えている。

本部同窓会事務局だより

新年のご挨拶

古川高校同窓会

会長 渡邊 義之



在京同窓生の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は熊本地震や阿蘇山の爆発、岩手県や北海道の洪水被害、加えて11月の福島県沖地震と津波の発生など、日本中まさに天変地異の様相で、それに世界に目を転じると、イギリスのEU離脱やアメリカ大統領にトランプ氏が当選するなど世界中大変動の年で、私自身、日本がトランプでジョーカーを引きやしまいかと些か心配している昨年度ですが、皆様今年も、蛍雪の絆を一層強くし、母校発展のため、お互い元気でがんばっていきましょう。さて、同窓会活動の状況ですが、皆様方の母校愛に支えられ、どうか順調に活動できております。昨年8月の総会では、本県の環境生活部長の佐野好昭氏(高28回、田尻)から「東日本大震災からの復興状況について」の題で名講演

を頂き、大盛況の裡に終了することが出来ました。今年の総会も皆様方の関心の深い話題を提供してくれる同窓生に講演を依頼しようと考えています。

次に本部の組織ですが、私も後期高齢者の仲間入りをし、少しづつ若返りを図って行く所存で、60歳代の方々に主要な役割を担って頂くよう鋭意努めているところでもあります。

次に先生方に依存している事務局体制ですが、先生方の負担軽減をはかる工夫をしていきたいと思っております。その為にもっと多くの方々から会費の納入があればと願っているところであります。そもそも同窓会の原点は母校そのもので、先生方に母校生の教育指導に専念して頂くためにも多くの同窓生の方々に会費の納入についてのご理解とご協力を引き続きお願いして行く所存であります。

次に、母校は創立120周年を迎え、今秋に記念式典を計画しております。同窓会としても、校長先生方のご提案に全面的に協力するつもりですので、このことに関しても多面的なご支援をお願い致します。終わりに在京同窓生の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。(昭34年卒)

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



在京同窓会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は冬の訪れも早く、古川では11月上旬には初雪が観測されました。東京都心でも50数年ぶりに11月の降雪があり厳しい寒さになりそうです。

本年度の同窓会総会は8月6日に開催され、約150名のOBの方々にご参会いただきました。今年の記念講演は宮城県庁環境生活部長の佐野好昭様から「東日本大震災からの復興状況」と題し講演いただきました。震災から5年が経過し、実際のどのくらい復興が進んだかデータと画像を元に講演いただきましたが、特に画像では実際に佐野さんが気仙沼や南三陸町などに足を運んで、防潮堤や土盛りの高さなど自分の身長と比較しながらどのくらいの高さがあるかなどよりリアルティを感じさせられる内容でした。また、質疑応答では今後の宮城の発展とインバウンドの増加についてなど予定時間を超過するほど熱い議論がなされ大いに盛り上がりました。

また、総会前日には鹿野軍勝在京同窓会会長はじめ5名の方々が来校され、今後の古川高校について意見交換会を実施しました。先輩方の古高生に対する期待の大きさが窺い知れ、実際教壇に立つOBとして責任の重さを痛感しております。

本校生徒の夏以降の活躍ですが例年以上の成果を上げました。吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで金賞を取り東北大会に出場しました。また、陸上部女子400mHでは1年生が上位入賞し東北新人大会に出場しています。運動部に目を向けてみれば新人戦で男子ソフトテニス部が3位となり躍進を見せてくれました。その他にも男子バレー部、男子卓球部、男女剣道部、女子ソフトテニス部がベスト8、女子駅伝が8位入賞しております。

文化的活動においても全国青年弁論大会で文部科学大臣賞の受賞や、県芸術作品コンクール随筆部門で最優秀賞を受賞するなど活躍を見せています。来年度は南東北インターハイと全国総合文化祭が宮城でも開催され、一人でも多くの生徒が出場し活躍することを期待しています。

平成29年には古川高校120周年記念行事が11月に予定されています。記念講演は東京大学荒川忠一教授に依頼しております。詳細につきましては同窓会報次号にお届けできると思いますので、在京同窓会会員の皆様もお近くにいられれば幸いです。最後に1月28日の旧市内四校新年会が盛会に開催されますよう祈念するともに、これからも本部同窓会への変わりぬご支援ご協力をお願い申し上げます。(昭61年卒)

また、総会前日には鹿野軍勝在京同窓会会長はじめ5名の方々が来校され、今後の古川高校について意見交換会を実施しました。先輩方の古高生に対する期待の大きさが窺い知れ、実際教壇に立つOBとして責任の重さを痛感しております。

平成28年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

(来賓8名他) 浅野 悟 (校長 白石出身) 渡邊 義之 (同窓会会長 S34卒 東大崎出身) 伊藤 貞嘉 (同窓会副会長 S47卒 米山出身) 遠藤 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身) 鈴木 忠司 (在仙同窓会会長 S48卒 中新田出身) 高橋 英文 (大崎市副市長 S47卒 古川出身) 駒井 隆治 (築高同窓会東京支部副支部長 S46築高卒 築館出身) 阿部 重一 (築高同窓会東京支部事務局長 S51築高卒 高清水出身)

(会員60名) (カッコ内は出身地)

Table listing members and their birthplaces, organized by graduation year (昭22 to 昭33).

平成27年度 総会報告

平成28年度定時総会開催

― 6月25日上野精養軒 ―

6月25日(土)、上野精養軒にて平成28年度定時総会・懇親会が開催されました。浅野校長、本部渡邊会長、伊藤副会長、遠藤事務局長、鈴木在仙会長、高橋副市長に、築館高校関東支部の駒井副会長、重井事務局長を含め来賓8名の出席をいただき、総勢67名でした。

定時総会の部では、27年度活動・収支報告にて会員の賛助金支援で収支が改善の方向にあるもののまだ途上半ばなので一層の支援をお願いしたい旨の説明がありました。

更に鹿野会長より新副会長2名を選出し、体制強化を計り更なる飛躍を図りたいとの説明があり満場一致で承認されました。

◇ 28年度からの新体制は次の通りです。(※は新任)

- 会 長 鹿野 軍勝 (昭36年卒)
- 副会長 曾根 研一 (昭30年卒)
- 副会長 兎玉 隆行 (昭36年卒)
- 副会長 大友 文博 (昭42年卒)
- 副会長 笠間 邦彦 (昭46年卒)*
- 副会長兼編集長 亀井 明 (昭55年卒)*

- 事務局長 佐々木恭次 (昭38年卒)
- 監事 大友 正行 (昭33年卒)
- 監事 鈴木 博 (昭46年卒)

講演の部は、大沼直紀氏(元筑波技術大学学長 昭35年卒)をお招きし、「あなたの耳は大丈夫? 聴力の衰えとその対策」の演題で、耳について本当に耳よりなお話でした。講演要旨は以下のとおりです。耳は、60〜70歳になると、高い音から「聞こえが衰えていく」そうです。



講演者大沼直紀氏

◇ そうすると、例えば、「竹下さん TAKE SHI TA SAN」は、高音の子音が聞こえない難聴の方には「あえいああん A E I A AN」と響きます。その音を何とか聞き取ろうと努力すると脳の思考・記憶もあり「あれはいかん」ではないかと聞き間違いつまじうこともあります。

視覚と聴覚という重複障害を乗り越えたヘレン・ケラーは、哲学者カントの言葉を引いて「視覚障害は人と物をつながり難くする。聴覚障害は人と人とをつながりにくくする」と表現し、聞こえは社会との関わりに欠かせないことを私たちに教えています。聞こえは、耳と脳との共同作業なそうです。一度失った聴

力を取り戻すのは難しいそうですが、最近の補聴器は優れたものが出来ており、補聴器のサポートがあれば、音を聞く脳の力、つまり「聴脳」を高めていくことは可能なんだそうです。

定補聴器技能者に相談する方法が良いそうです。最近、左耳の「聞こえ」が悪いと感じている私にとつても、嬉しい耳よりな情報でした。

懇親会は、大沼講演者を囲んで和やかな雰囲気の中になに交流を深め、恒例の相澤昭男氏(昭31年卒)音頭による囃南歌を高らかに謳い、激励を含めて3本締めで終了しました。



大崎市副市長(右から2人目)とともに



浅野校長(右から2人目)とともに



講演者の大沼さん(左から3人目)とともに



元気で楽しく

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階

(虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493

E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners
BIP株式会社

昭和42年卒
代表取締役 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F

TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418

東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F

TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

<第1号議案> 平成27年度 活動報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成27年 5月16日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長)	KKRホテル仙台
5月24日(日)	会報「蛭雪55号」及び総会案内発送(会員885名)	信陵会館
6月27日(土)	定時総会、懇親会 講演：松平定知氏「伊達政宗」	上野精養軒
7月11日(土)	築館高校同窓会東京支部総会出席 (鹿野会長、曾根副会長、佐々木事務局長)	KKRホテル東京
8月8日(土)	本部同窓会総会出席(高橋前会長、鹿野会長、佐々木事務局長)	大崎市「芙蓉閣」
10月23日(金) ～24日(土)	会員交流会「ふるさと探訪ツアー2015」 (仙石線沿線の港町を探索する旅)	女川～松島 ～塩釜～多賀城
12月19日(土)	会報「蛭雪56号」及び四校合同新年会案内の発送(会員842名)	信陵会館
平成28年 1月23日(土)	「第23回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校・古川工業高校関東同窓会) (古高70名、黎明52名、古工40名、古学37名、四校来賓6名、計205名出席)	上野精養軒
3月1日(火)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与 (鹿野会長、大友副会長)	古川高校

<第3号議案> 平成28年度 活動計画案

平成28年4月1日～平成29年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成28年 5月7日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長)	仙台市「ホテル白萩」
5月22日(日)	会報「蛭雪57号」と総会案内発送(会員807名)	信陵会館
6月25日(土)	定時総会、懇親会 講演：大沼直紀氏 演題：「あなたの耳は大丈夫？聴力の衰えとその対策」	上野精養軒
8月6日(土)	本部同窓会総会出席 (鹿野会長、大友副会長、佐々木事務局長、今川幹事)	大崎市「芙蓉閣」
9月9日(金) ～10日(土)	「ふるさと探訪ツアー2016」 ～宮城県南の風土と文化を訪ねて～	古川～白石～鳴子 ～岩出山～古川
12月18日(日)	会報「蛭雪58号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成29年 1月28日(土)	「第24回四校合同新年会」開催 (幹事校・古川学園高校)	上野精養軒
3月1日(水)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与	古川高校

- ◎役員・幹事会：信陵会館
 第1回 H.27年 5月24日(日) 13名
 (会報・総会案内発送、総会運営他)
 第2回 H.27年10月3日(土) 11名
 (在京・本部総会報告、56号会報発行内容他)
 第3回 H.27年12月19日(土) 12名
 (会報・新年会案内発送、「ふるさと探訪ツアー」報告、
 四校新年会準備他)
 第4回 H.28年 3月26日(土) 14名
 (四校新年会報告、定時総会準備他)
- ◎四校合同幹事会：上野ぶんか亭
 第1回 H.27年10月23日(金)
 第2回 H.27年11月20日(金)
 第3回 H.28年 1月15日(金)
 第4回 H.28年 3月5日(土)
 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務)
 大友(文) 菊地(務)

- ◎役員・幹事会：
 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員・幹事会
 を開催
 第1回定例5月22日開催：総会運営他
 第2回定例10月15日開催：総会報告他
 第3回定例12月18日開催：四校新年会準備他
 第4回定例3月下旬開催予定：総会準備他
- ◎四校合同幹事会：
 四校合同新年会(H29.1.28)にむけて、10月下旬から1
 月中旬までの間に3～4回開催する。
 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務)

第2・4号議案 平成27年度決算／平成28年度予算案

収入の部

科目	H27年度決算額(円)	摘要	H28年度予算額(円)
年会費	580,000	290人 / 300人	600,000
賛助金	286,000	89人	300,000
広告料	30,000	企業・個人広告	80,000
寄付・祝儀金	0	個人寄付	10,000
雑収入	84,790	四校新年会他剰余金	30,000
収入計	980,790		1,020,000
前期繰越金	825,843		808,815
合計	1,806,633		1,828,815

支出の部

科目	金額	摘要	金額
会議費	71,849	役員・幹事会資料他	35,000
図書印刷費	419,532	会報、案内状、封筒他	420,000
事務用品費	10,287	コピー、文具代他	8,000
事務所経費	35,000	信陵会館年間契約料他	37,000
通信費	237,808	会報発送費、宅急便代他	245,000
慶弔費	83,944	東京蛭雪賞、香典他	90,000
旅費交通費	68,920	本部総会、卒業式出席旅費他	90,000
活動費	40,000	ホームページメンテナンス他	60,000
雑費	30,478	年会費振込手数料他	35,000
支出計	997,818		1,020,000
次期繰越金	808,815		808,815
合計	1,806,633		1,828,815

「ふるさと」
探訪ツアー 2016
 白石史跡と旧有備館ほかを訪ねて

今回のふるさと探訪ツアーは、県南の白石城主の伊達家重臣片倉小十郎家廟所とNHK大河ドラマ「真田丸」真田信繁（幸村）遺児との繋がりの史跡を探訪しながら、遺児の家名再興の苦勞を偲びました。

2日目は復興後の旧有備館や中鉢刀剣美術館ほかを巡り、「政宗公まつり」祈念式典で現伊達家当主を知り、姉妹都市交流サミットまで参加し、大崎市と七つの市町の深く繋がりのある交流を知りえたのは、今までの探訪ツアーとはひと味違う意味合いがありました。

特に旧有備館見学案内では、古高岩出山支部同窓生が名前を覚えきれない程多数参加され、大江先輩の案内説明と共に感謝いたします。

1日目の懇親会では、普段味わえない地元の銘酒の差し入れがあり、交流会の醍醐味を感じました。宿にお酒を頼まずに済んでしまいました。

岩出山支部並びに在仙同窓会の方々を含め、大変お世話になりましたこと改めて感謝いたします。

（事務局 昭38佐々木恭次）

「ふるさと探訪ツアー 2016」
 参加者（総勢19名）（敬称略）

- 【本部同窓会】 渡邊義之(昭34) 長崎 徹(昭38)
- 【在仙同窓会】 高橋健三(昭30) 堀越五郎(昭30) 荒谷正咲(昭38)
- 菅原四郎(昭38) 千葉治郎(昭40)
- 【在京同窓会】 横山 武(昭30) 渡邊紘也(昭33) 鹿野軍勝(昭36)
- 佐々木恭次(昭38) 上野正司(昭39)
- 【友人】 内藤雅子
- 【交流会】 浅野 悟校長 澤口久光(昭20) 大江満隆(昭27)
- 小野賢一(昭40) 高橋英文副市長(昭47)
- 富田敏郎教諭(昭62)

「白石史跡と有備館・中鉢美術館の思い出」
 昭30年卒 横山 武

私自身5回目のふるさと探訪ツアーに参加した。9月9日（金）10時古川駅集合、天候にも恵まれ良い旅となった。まずは母校を表敬訪問する。4年前に来た時は一部プレハブだったが、すっかり立派な新校舎となった。教室、特別教室や体育館を見学する。廊下で生徒と会うと男子も女子も元気な挨拶に古高魂を感じて母校を後にする。

最初の探訪地は県南の白石市、白石は行ったことが無い所で一番訪れたかった所でした。歴史の豊富な地でもあり、私の生き方を教えてくれた中学時代恩師の故郷でありました。



田村清頭(正面)と阿菖蒲の墓



真田信繁の墓碑

最初に真田丸に縁のある当信寺に行く。この寺には真田信繁（幸

村）の遺児阿梅と大八の墓がある。阿梅は二代小十郎重長の後妻となり、大八は密かに養育されて片倉定信となって生涯を終える。姉弟の墓は仲良く並んでいた。信繁との約束を守った片倉家のすごさを感じた。

次に政宗の重臣片倉小十郎景綱が創建した片倉家の菩提寺傑山寺に行く。後に三代目目の時に移されて遺言の墓石の代わりに、木製の墓は、大木になっていた。この寺に初代横綱「谷風」の墓もあると云うので探したが見つからなかった。

この後白石歴史ミュージアムを見学して白石城に入る。白石城は市の中心部にある平城で、徳川幕府になって大名一國一城時代令の中、唯一、二一城を許可された城である。今は平成になって復元された天守閣があり、そこから市内の眺めが一望できた。立地条件の良い城址であった。

次に片倉家の廟所がある愛宕山に行く。三代重信の時に傑山寺から移された初代を中央に10代まで横一列に墓石並んでいた。最後に嫁いだ信繁の遺児阿菖蒲と信繁の墓が並んで立っていた。好きな幸村の墓があったのに安堵した。

白石を後に今夜の宿川渡「ゆさ」に着いたのは6時頃、一風呂浴びている間もなく懇親会となる。校長先生方を始め、地元岩出山から澤口、大江先輩方々も来ており、大変盛り上がる宴会となりました。地元の方々からうまい酒の差し入れが多く、美味さに誘われ飲み過ぎてしまった。

2日目の最初の見学は鳴子の潟沼を車中で眺め、日本こけし館の

コレクションを見学して有備館に行く。澤口、大江さんの出迎えを受けて、大江さんのガイドで先の震災で半壊した有備館もすっかり修復されて安心した。

中鉢美術館に入る。ここに奥州鍛冶の名刀がずらりと並んでいる。館長の中鉢氏の説明に因ると、古来律令時代から奥州には優れた3つの鍛冶集団（舞草、月山、玉造）があった。それらの鍛冶集団は虜囚となって中央に連れ去られてこき使われた。それが各地に散って日本刀の源流になった。松山には今も鍛冶屋があるので嬉しくなった。

丁度政宗まつりがあり、祈念式に参加して、大崎市10周年記念姉妹交流サミットに参加して散会した。

「ふるさとを訪ねて
 我が町を思う」
 昭39年卒 上野 正司

今回の「ふるさと探訪ツアー」は、平成20年以來はや6回目なそうです。毎回参加しております。

私は在京古高同窓会の幹事でもあります。カンツォーネ歌等として、ステージにたちます。等を理由にして欠席続きですが、「ふるさと探訪ツアー」には毎回参加し、今や「ふるさと探訪ツアー」要員と云われています。

9月9日朝古川駅に集合し、古高表敬訪問ではいつもながら浅野校長先生をはじめ、温かい出迎へと案内を受けました。なかでも感心しました事は、勉強ル

ムができた事でした。それは我らの先輩が多額の寄付をして出来たものと云うことです。今は家では誘惑（テレビ・スマホなど）が多く、勉強できないのだそうです。次に一路バスで白石に向かいました。白石は、私にとって初めてのところで期待して行きました。静かな高い建物のない落ち着いた感じの町でした。

政宗の重臣片倉小十郎の一族が代を治めてきた所で、今しもNHK大河ドラマ「真田丸」に大いに関係のあるとの事でした。それは、真田幸村の次男大八を小十郎が引取り、養育したというものです。史実であるかどうかは遠い歴史の彼方という事でありませぬ。史跡の多さに充分満足しました。

泊まりは、川渡温泉「ゆさ」という所で美味しい食事、うまい酒に堪能しました。

岩出山のOB方々の懇切丁寧な説明と差入れに心から感謝しました。そこでは、例のカンツォーネ歌手上野の「サンタルチア」とアンコールの「帰れソレント」が出て、やんやの喝采を浴びました。

翌日は潟沼散策、鳴子こけし館を見学して、最終地岩出山に向かいました。

再興なった有備館では、またまた大江先輩の丁寧な解説を受け、感謝でした。また中鉢美術館というのできていて、名刀を沢山観ることができました。

平安の頃、鬼、虜囚とさげすまれた東北に不思議と名刀を作る鍛冶が多くいたということです。川渡の鍛冶谷沢もその一つだったそうです。これは驚きでした。この日は伊達の政宗公まつりが

行われており、これに合せて「姉妹都市交流サミット」が催され、我々が行きました会場は元岩出山町役場の一角で、酒田市、遊佐町、当別町（北海道）、大阪田尻町、宇和島市、横浜港北区に東京台東区という大崎市ゆかりの首長さん方が集まり、大変な盛り上がりだった。



旧有備館にて岩出山支部のみなさんと

私はこういう事は正直苦手なのであるが、待てよ、私も地道な「町づくり」をやっているのではないかと。

私は習志野市に住んで40年になるが、今から15年前、市の中央に京成線を跨ぐ立体交差を作った。第二、京成大久保駅の入口を両側だけだったものを東側に作った。第三は、実初（みもみ）駅近くに湧水を見付け、今では大きな池になり、川魚の宝庫になっている。いずれも私が設計図と市長に嘆願書を書き、地元鈴木議員と組んで8年掛かって実現させました。とにかく古高生のいくところ次々

と人の為、良いことをしていくのである。

あ、この次も「ふるさと探訪ツアー」はあるのだろうか、その時はまた渡邊会長の知性に満ちた連続ダジャレを聞きたいものです。

*先輩：旧制古中5回卒 亀谷徳兵衛

—ふるさと探訪ツアー2016—

昭38年卒 長崎 徹

前日までの台風の影響による悪天候が嘘のように晴れ上がり、多少暑いくらいの絶好の行楽日和の2日間であった。

今回のツアー参加は昨年続き2回目では前回は日帰りでしたが、今回はフルコースで臨みました。

70歳から最高齢80歳までの13名の構成で、今回特別参加で79歳の女性1名がツアーに花を添えてくれました。（この方は佐々木君の学生時代の下宿先の大家さんのお嬢さんとのことです）

初日朝、古川駅集合で、まず我が懐かしき母校古高表敬訪問がありました。今回これが私にとり動機の一つでした。浦谷町に住んでいるが卒業以来訪ねたことがなかったので一度来てみたかったのです。

校庭に僅かに昔の面影を留めていたものの、全体として昔の光景は全く思い浮かべることができませんでした（半世紀越えていますかね）。

しかも今や男女共学になって10年程経過し、授業が垣間見えたものの女子がほぼ半数近くおり、他の高校に来ていという感覚でし

た。食堂、自習室などがあり、今の生徒は恵まれているのかなあと思ったりしました（自習室が昔あったらなあ：羨ましい）。



古高訪問

この後、バスで一路県南白石市に移動しました。昼食は名物白石うーめんを戴き、市内の白石城、当信寺、傑山寺、田村家墓所などを巡りました。

私は名所、旧跡などをジックリ観る・聴くというタイプには程遠いので、今こう書いていても訪問先の印象を憶えず、皆と一緒に歩き廻り、会話を交わしたというのが実情です。

しかし道中諸先輩・後輩達との一緒に行動、会話を通して親しくお近づきになれた事は大収穫でした。

このようにして、人生のある時を共有出来る事は何よりも得難い事だと思えます（同じ高校卒で

あることが唯一の共通性だけなのですが、あたかもずうっと以前からの仲間同士のごとくで、誠によい雰囲気味わえますよ）。

さて夕方は川渡温泉「旅館ゆさ」での懇親会です。現校長浅野先生を始め、最高齢90歳の澤口大先輩ら6名が新たに加わり、大いに盛り上がりました。夜遅くまで談論に熱中した部屋もあつたよう皆様楽しく一夜を過ごしたようです。

一つ残念だったのは宿への到着が懇親会開始間際だったので、ゆっくり温泉に浸かる時間がなかった事でした。翌朝早い時間でポーとした状態での入浴でした。



懇親会

さて入浴、朝食後、皆眼目をこすりながら近くの「湯沼」と「日本こけし館」見学へと向かい、次に岩出山の「有備館」の見学です。ここは澤口大先輩が案内説明を

買って出て大張りきりでした。平成23年3月の震災で倒壊し、今年3月に完全復旧となったとの事です。

続いて隣の中鉢美術館に入り、世界からも高い評価を得ているという日本刀の数々を観賞しました。

古来、奥州では多くの刀鍛冶が活躍していたという事で、日本刀の源流がここ東北にあったことを教わりました。昼食で一息つき、岩出山城址を散策し、往時を偲びました。

政宗公が仙台に移っていなかったら、ここ岩出山が京都になっていたのではなどと勝手に想像しながら城山から町を見下ろした事でした。

この後、第53回政宗公まつりの祈念式典と大崎市姉妹都市交流サミットに出席しました。この2か所の我々の顔出しで伊藤大崎市長の顔を立てたものと思っております。

ところで合併後の大崎市の姉妹都市が全国で市、町、区合せて何と7か所もあるのです。

異色なのは大阪府に田尻町という極めて小さい町があるのは発見でした（私だけかもしれないが）。関西空港の近くです。地図をご覧ください。

終わりになりますが、このように探訪ツアーに参加することで人との出会い、これまで知らずにいた事、また新たな発見などがあり、極めて有意義な貴重な時間を過ごすことができました。

毎回の事ですが、この企画をして下さる関係者の方々に深く感謝いたします。

会員による自由投稿

古川高校同窓会総会報告

8月6日(土) 芙蓉園で開催されました。

平成28年度本部同窓会総会に鹿野会長、大友副会長、今川和彦幹事(昭46年卒)の4人で出席しました。総出席者数は150名余で、若手も入り盛会でした。

総会議題で同窓会新役員として伊藤貞嘉副会長が選任されました。四校新年会や在京同窓会でもお目に掛かっている方が多いかもしれません。

また来年古川高校創立120周年を迎えるにあたり、協力要請がございました。具体的な事業はこれから立案する計画です。

今回の特別講演は、宮城県環境生活部長佐野好昭氏(昭51年高28回卒)による「東日本大震災からの復興状況」の内容で、宮城県庁の実施統括者としての具体的、詳細な復興実施計画とその経過をお嬢さんに手伝ってもらい映像で説明され、現場の立場で資料だけではわからない、切実味溢れた講演でした。

昨年のおふるさと探訪ツアーでの女川町訪問やその前年の南三陸町災害地訪問の思い出が彷彿され、予算もあるでしょうが、計画の早期成就を願わずにはおられません。

懇親会は円卓テーブルにて渡邊

会長の終わることの無い、古高応援歌の連続でした(いつも感心しております。会長職は、先ず校歌と応援歌を全て謳えるようにならないと！)

事務局 佐々木恭次(昭38年卒)

築高同窓会東京支部

総会参加報告

7月10日(土) 竹橋のKKRホテル東京にて築館高校同窓会東京支部総会が開催され、鹿野会長、曾根副会長とともに3名で参加させていただきました。

講演会

古高同窓会と異なり、講演会が先です。

今回は、画家で築館高校の教員をされていた河北美術展の参与の菊地義彦氏が、「人生二十五の筈はずだった…」という演題で講演されました。

戦時下、遠くない将来、兵隊に行つて死ぬことを考えていたのに戦争が終わってしまった、しばらく途方に暮れていた青春時代や、旧制中学時代の後輩の菅原文太さんとのエピソードを交えながらのバラエティに富んだお話を、昭和6年生まれ御年85歳であるにもかかわらず、大きく張りのある声でされ、会場隅々まで笑いや感心でいっぱいでした。

教員時代の菊地氏を思い出し、懐かしく感じた参加者も多かったようです。

総会

通常の活動報告や収支報告以

外に、この春、統合後初めて受験倍率が1倍を超えたというところで、佐藤公輝支部長から佐々木校長に感謝状が贈呈されました。

生10周年記念式典が大崎市市民会館で行われました。

これも古高同窓会と異なり、全員が円卓に着席した形式です。今年、例年以上に新卒者が多数参加があったそうです。新卒者から佐々木校長へのサプライズや、古高同窓会にはない舞踊など多彩な内容の余興が繰り広げられました。

これは旧古川市、鳴子町、岩出山町、二本木町、松山町、鹿島台町、田尻町の1市6町が合併してから10周年という節目を迎え、新時代への飛翔に向け、協働、一体感、さらに大崎市を内外に強くアピールすることを目的に実施されました。

現栗原市内の縁のある高校の同窓会の方々も参加されており、「オー栗原」的なものを感じました。

東京からも「宝大使」や首都圏大崎連絡協議会関係者の方々が多数出席されました。鹿島台小学校のブラスバンドに始まり、市民歌、市の花・木・鳥の制定や大崎市のご当地ナンバープレートの披露に加え、10周年記念特別表彰がありました。

最後の校歌・応援歌の斉唱ですが、少子化による学校再編・男女共学化の流れの中、築館高校は、築館女子高校と統合された結果、(新)築館高校となっており、校歌も新しくなったそうです(作曲は、当日参加されていたシンガーソングライターのみなみらんぼうさん)。

大崎市の市民歌は歌詞を公募した結果、札幌の方が選ばれ、これに私の同期のさとう宗幸君(古高昭42卒)が作曲したもので、とても素晴らしい市民歌です。当日は宗幸君が市民歌を歌い、ご披露しました。ちなみに私も歌詞を応募したので、残念ながら落選しました。

そのため、旧制築館中学、築館高校、築館女子高校、(新)築館高校の都合四つの校歌がありました。わが古川高校はそういった流れの中、

市の花としては、太陽のように明るく元気をイメージさせる「ひまわり」が選ばれました。三本木にはひまわりの丘公園がありますので来崎の時は訪問してください。

「心の琴の絃も張る...」一本でいけるといえるのは、むしろ恵まれた状況にあるのではないかと思います。感を感じました。

市の木は、市内各地に広く生息する「桜」となり、これは私の出身地田尻の加護坊山にも2000本桜があり、春は山が桜一色になります。

亀井 明(昭55年卒)

市は「マガン」です。自然が豊かで、生き物と共生し、飛翔する大崎を象徴する鳥として選定されております。

田尻の蕪栗沼や長岡の化女沼な

どには、渡り鳥が越冬のために飛来します。蕪栗沼には、数万羽のマガンが夕方ねぐらを求めて集まり、朝は一斉に飛び立つ光景は壮観です。

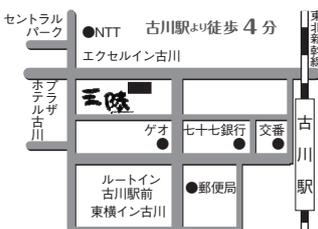
大崎市合併10周年

記念式典報告

11月3日、文化の日に大崎市誕

特別表彰としては白鳳関(相撲)、藤岡奈穂子さん(プロボクサー)などの他、首都圏大崎連絡協議会も復興支援や大崎市の知名度向上に寄与したとして表彰されました。

この協議会には、在京の旧市町村のふるさと会や四校関係者が多数参加されており、日頃の皆様のご努力の賜物と思っております。 大友 文博(昭42年卒)



宮城県大崎市古川駅前大通 2-3-6
☎0229-22-0025
11:30~14:00 16:30~24:00
年中無休 12台
http://www.sanriku.net/

三昧本店
創業 1972年
海鮮居酒屋 一筋!
代表取締役 井上 秀隆
昭和42年卒

会員通信

〈28年度総会 返信ハガキ通信欄から〉

●特別変りなくやっています。週1日だけ清瀬の結核研究所と福十字病院で仕事しています。東北大学医学部第一内科開講100年で特別講演を依頼されております。6月18日です。(S22結核予防会松本慶蔵)

●年々重症化する家内の介護で外出が意のままならず、外の会合には失礼しています。先日、一寸した交通事故を起こし、傷めた筋肉の回復が芳しからず、これも年齢相応の老化故かと自戒しています。(S24齋藤 馨)

●視力障害の妻の介助と家事の傍ら、地域の絆づくり手伝い。老化する体調維持中。(S24三浦澄能)

●体調不良のため、(総会を)欠席致します。どうぞ皆様によりしくお伝え下さい。(S26岡本 昭)

●高齢の仲間入りで、歩行多少不自由です。健康診断で白内障と診断され、6/20に左眼、27日に右眼を手術することに成っており、残念乍ら総会に出席出来ません。盛会を祈念申し上げます。(S26角田啓輔)

●いつもこのながら紙面いっぱい充実した情報、ご好意ありがとうございます。私共、高四回卒も4月に校庭で燦々桜を観る会20名参加で早の息吹きにあふれ、青春の風に触れました。(会報ご送付に……感謝)(S27加美町在住伊藤祐造)

●週2回の腰痛水泳教室への参加を続けております。毎回400〜500mほどは泳がされており、そのためか、元氣な日々を過しております。(S27氏家明朗)

●このところ体調がよくないため、(総会)欠席。会の盛況を祈念致しております。(S28中川裕雄)

●昨年10月から週刊紙「江戸三百藩」を購入しています。現在ようやく100藩を読み終ったところです。(S28加美電子工業(株)早坂明久)

●皆様のご健勝と、総会のご盛況を祈念申し上げます。(S29諏訪市・笠原歯科医院近江誠一)

●合唱団に入って、声を出しています。(S29高橋 滉)

●〇尺八(古典、新曲) 〇屋号調査 道標

●肝臓ガン治療のため(総会を)欠席させていただきます。(S30佐藤輝久)

●眼病がひどく、車の運転はもろろん不可能で外出も不可能です。先月ひびを手術し、リハビリに通院中であり、心臓病もわずらっており、高崎市から(総会に)出る事は不可能です。(S30佐々木 豊)

●縁あって、オペラ「細川ガラシ」の合唱に参加できることになった。最終幕で家臣が謡曲「八島」の一部を演ずる場面があり、素晴らしいので、自分も一通り稽古をつけて貰おうか、など思っているところです。(S30高橋 廣)

●相変らず写真づけしております。写真を撮ったり、作ったりすることより、世話役の量や範囲が広がって困っております。(S30塚田要三)

●年相応に足腰が弱くなりましたが、晴れの時は徒歩買物、散歩、雨天時はテレビドラマ等の鑑賞、棋譜による囲碁研究などで日々を過しております。(S30手島篤郎)

●ようやく老人の仲間入りの80歳になりました。4年後の東京オリンピックは元気で会場に行けるか、歩行困難者となってテレビで見物か、楽しみでもありません。(S30山中廣志)

●四月で私も80歳の年になり、体力も気力も少しずつ落ちてきているのが解ります。それを如何にかカバーするかが今後の横山りの課題。(S30横山 武)

●後輩達も大いに頑張っている様で頼もしいです。直に報告を聞くのを楽しみにしております。(S31相澤昭男)

●もう少し生きると大台に乗ります。身も心も懐も、大儀になって来ます。(S31石川勝夫)

●事情で自宅を留守にできず、(総会を)欠席です。申し訳ありません。(S31松谷嘉男)

●在京同期の友志とは、たまに会っています。(S32佐々木勝也)

●宮澤中学校30年卒同級会がありますので(総会を)欠席と致します。現在、民謡とグラウンドゴルフに熱中しております。(S33小堺 勉)

●ひびのオベ後のリハビリ、クルーズ病金欠病は進行中。(S33榎ササキ商事 佐々木光一 路)

●小学校最後の同級会が7月に松島で有り、楽しみたいと思います。男女約150人中30人程出席とか!「同級会歌って踊って救急車」歌丸。(S34青沼行雄)

●約6ヶ月位、検査の為、通院していますが、日常は異常なく暮しております。殆ど毎日30分位の散歩を行っています。(S34村上金吾)

●年齢74歳、去年末、狭心症・大動脈瘤・腎臓の切除と大病をしましたが、今は元気に好きな海釣りや野菜作りに頑張っています。(S35黒石弘一)

●日頃、幹事様には大変お世話様です。脊柱管狭窄症との闘病生活です。(S35今野正弘)

●年金生活10年になりました。総会当日、NPOイベント活動があり、そちらを優先させてに気がつかないながら楽しんで過しております。2月には、約7年間赴任していたマレーシアのクアラランブルの現地の友人の子息の結婚式に受け、現地のOBの方々も含め大歓迎を受け、国境・人種を超えたひとひとのあたたかさを感じ、幸せをかみしめています。(S35技術士 我妻一美)

●今年2回程倒れて救急車のお世話になりました。病院と教会だったので、多くの方にも過性の脳虚血でした。大事に至らずホットしています。(S36菅野俊次)

●続ける事のむずかしさ、並大抵ではない。楽しく出来る事、我慢して続ける事、色々あるが、何回も続けてきた事をキツパリと止める。歳をとるにつれて、自分の都合の良い事を考える。なかなか出来ない事、断酒。禁酒は出来ているのだが、意志の弱さが見えかかれます。継続は真なり、習慣は才能より強し、少し肩の力を抜いて、一日一回笑う。義務的にならず楽しく。(S36佐藤宗博)

●長寿訓に曰く「腹八分、くよくよするな、ゆつたりと、おしゃべり忘れず毎日歩け。余計な解説を要しないが、私には始めの「腹八分」、これがどうもいけな。今年の人間ドックではメタボに当たらずの診断も、お腹の両サイドのタリミが気になる。「腹八分」とは、事を成すに当り余裕を持ち自制も必要の寓意もある。「腹八分」、今年の課題だ。(S36榎セブセンス 高橋幸裕)

●「生涯現役」の精神です。次の世代に繋げるための微力を傾注したい思いで、精励している次第です。(S36千葉 昇)

●独居老人になりました。ウオーキングを楽しんでます。現在、東海道ウオーキングに参加しています。(S37相澤利重)

●長野マラソン」16回出場中です。しかし、H27・28と連続35Kmで、時間制限でアウトに成りました。次回もエントリーし完走を目指します。タイムは5時間です。(S37渋谷 孝)

●特別養護老人ホームの委託医師をしていると、急変とお看取りで休暇がとれます。グループで対応しないといけないので

すが、都会の様にはなかなか。(S38いわき市高坂クリニク 阿部重人)

●小生、過日胃がんの手術、退院後、自宅にて静養中の身。(総会を)欠席です。(S38大場和男)

●孫と卓球の毎日です。(S38菅原清春)

●高齢者の種々のボランティアと趣味の囲碁・将棋で、多忙な毎日(を過)してあります。(S38高橋忠世)

●健康診断等で都合がつかず、(総会に)出席できません。失礼します。(S38宮本信夫)

●①カンツォーネ歌手としてガンバッテます。②仕事は家修理です。(S39ウエノハウスメンテ 上野正司)

●総会で皆さんにお会いできることを楽しみにしていましたが、行事が重なって参加できなくなりました。昨年同様、マラソン・仕事・お酒と楽しんでおります。(S39三和保育園 笹原誠一)

●現場廻りで毎日(を過)しています。(S39塗装 周芸 菅原 静)

●今の応援団は、白袴はいてカッコいいですね。私の頃は学生服に白のズツ靴はいて、定期戦に築館の町を行進しました。い思い出です。現在の私は老人社会の一員として、囲碁活動をして、日々楽しく過しております。いつも会報をありがとうございます。(S39高橋勝雄)

●職を辞してから、ボランティアのようなものを引き受けています。(S39山本 滉)

●二度目の職場も来年3月に定年となります。(S39(株)ネクスト・ツール北関東 渡邊則夫)

●今年5月、母の介護の為、古川に移住しました。今迄、大変お世話になりました。(S41後藤健人)

●月から金まで、元気で働いています。(S41農林水産・食品産業技術振興協会 高橋秀之)

●大学時代の学院グリー(TGGC)・東京OB合唱団のメンバーとしてボランティア活動しています。なお、当団には古高OB4名が所属しています。(S42(株)日電 佐々木正雄)

●先日、義母(95歳)が亡くなりました。また、義父も高齢であり、介護しております。私はこの時期の講演会・懇親会を楽しみにしております。(S44相澤次雄)

●木目細かな配慮、有難いと思っております。昭43年度、44年度版生徒会誌を探しています。流星(ベルセウス座)についての記事を見たいものですから、旧姓「後藤」が書いた記事ですか。(S44岡村 明)

●毎週日曜日、小学5年の孫が遊びに来ます。一緒に宿題を見てやりながら私自身も60の手習いの如く勉強しています。(S44田田耕二)

●古高OBで仙台、宮城にお戻りの方、気軽に仙台駅エスパル5階のカルチャー教室にお立ち寄りください。(S45河北TBCカルチャーセンター 岩瀬昭典)

●元気で働いております。(S47NECリテニョシイベータ(株) 松本秀二)

●野球部の甲子園出場を心待ちに致して居ります。(S50(株)テクノスジャパン 文明)

●新年の集いはとても楽しかったです。今回は都合がつかない為(総会を)欠席いたします。(平一 大和証券 小嶋浩二)

心よりご冥福をお祈りいたします

青沼 瑞夫氏 (昭20年卒) 平成27年9月27日

早坂 揆男氏 (昭24年卒) 平成27年8月15日

荒井 隆氏 (昭25年卒) 平成28年7月7日

編集後記

本年創立120年を迎える我が母校。多くの人材を輩出し日本の発展に貢献してきたと思う。新たな飛躍への一歩としたい (大友)

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート 専任スタッフ・有資格 CALS/ECインストラクター 10名 電子化ファイリング 6名 文書情報管理士 1級 5名 2級 16名 CAD利用技術者 2級 3名 SXF技術者 2級 1名 代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒) 株式会社 ケーヨー http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp 本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6 ☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167